

新潟日報政経懇話会上越

会の6月例会が19日、上越

市のデュオ・セレッソで開

かれ、NPO法人「となりの

かいご」(神奈川県)の

川内潤代表理事が「誰でも

できる仕事と介護の両立と

は」と題し講演した。写真

Ⅱ。「家族だけで介護を抱

え込むべきではない」とし、

専門職からの手助けを受け

の重要性を説いた。

要旨は次の通り。

一、働いている間に、介

護と無縁で生きられる人は

ほとんどいない。だが、職

場で介護の相談ができてい

る人は少なく、いるとして

NPO法人「となりのかいご」 代表理事

川内 潤氏



専門職の手助けが重要

も仕事を辞める相談が多

い。調査では、介護を始め

て1年未満で離職する人が

最も多い。多くが要介護者

を支える態勢をつくる際

に、仕事を続けられずに辞

める。

一、家族と専門職の役割

は違う。家族は介護の全体

観的で冷静な立場の専門職

に任せ、要介護者に愛情表

現ができる心の余裕を持つ

ことが大切だ。

一、早めに地域包括支援

センターに相談してほし

い。困ってから相談するよ

りいい支援が得られるし、

自分の忙しさを伝えれば助

言も受けられる。働く世代

に介護との関わり方を伝え

られるのは企業だ。社員が

働きながら持続可能な介護

態勢をつくるのができれば、

人材流出の防止や、属

人的な仕事をシェアするき

っかけになり、企業にもメ

リットがある。

◇

新潟日報政経懇話会上越

会の申し込みは、事務局(新

潟日報上越支社業務部内)、

025(523)9700。